

ジオ・フェスティバル in Sapporo 2014

ジオ・フェスティバルが10月4日（土）、札幌市青少年科学館で開かれました。当協会は、この行事に協賛しています。この日は、青少年科学館の「開館記念感謝デー」で、入場料は無料でした。

この数ヶ月でも、広島の豪雨災害、御嶽山の噴火など、多くの犠牲者が出る災害が発生しています。自分の身を守るためには、大地を含めた自然についての正確な知識を小さい頃から身につけることが大事です。

このような催しが、少しでも自然に対する興味をかき立てるきっかけになればと思います。

以下、写真で当日の様子を紹介します。



写真1 9時半の開場を待つ人たち

小学生と父母という組み合わせが最も多かったです。この行列が解消したのは、開場から30分後の10時過ぎでした。



写真2 ジオ・フェスティバルの会場入口

広いスペースに約20のブースが設けられています。



写真3 北海道地質調査業協会のブース

全国地質調査業協会（全地連）で作成した冊子「日本ってどんな国」を紹介し、持って帰ってもらいました。オールカラーで、内容も十分に吟味されています。



写真4 道総研 地質研究所のブース

9種類のきれいな石を台紙に貼り付けて名前覚えてもらおうというものです。なかなかの人気でした。



写真5 札幌管区気象台のブース

大雨、竜巻、火山、地震・津波と生活に直結する災害が発生しています。竜巻の再現を行いました。



写真6 地すべり学会北海道支部のブース

砂の入った箱を傾けて、地すべりが発生する様子を再現しています。水の役割が重要なことが分かります。



写真7 「星の砂」を探そうブース

沼田町産の有孔虫化石を探すブースと「星の砂」・「太陽の砂」を探すブースがあります。

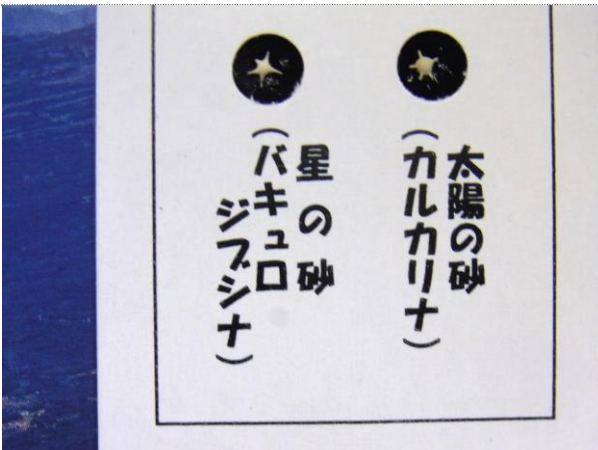


写真8 何とか見つけた星砂

「星の砂」と「太陽の砂」の違いを見分けるのが難しいです。



写真9 石の火あぶり実験のブース

いろいろな石をバーナーであぶって何が起きるかを見ます。

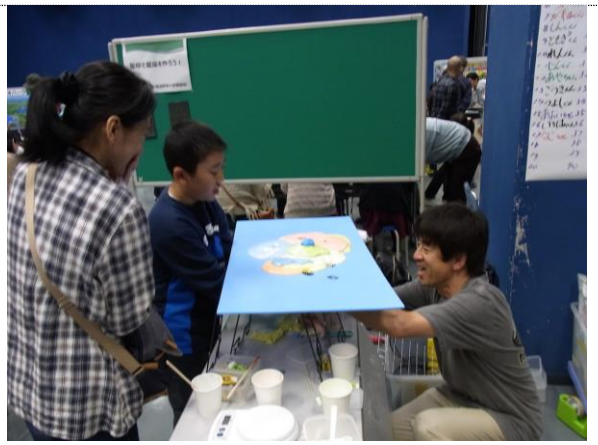


写真10 火山をつくろうブース

下からマグマが上がってきて火山ができる様子を再現しています。



写真 11 結晶の成長を観察するブース
見ている目の前でシャーレの中に結晶ができてきます。



写真 12 成長した結晶
最初は針のようだったのが、繊維状の結晶が一面にできました。

来年以降も、札幌市青少年科学館で開催する予定だそうです。多くの人に来てもらいたい催しです。